

2021年度自己点検・評価結果にもとづく 学校関係者評価報告書

2022年2月

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

学校関係者評価委員会

学校が実施した自己点検・評価結果の各項目を根拠資料とともに説明し、評価項目ごとの自己点検・評価結果の妥当性について検証すると共に、各委員から意見を聴取した。なお、自己点検・評価の評価項目と様式は、静岡県専修学校各種学校教育振興会 自己点検・評価委員会発行『自己点検・評価ガイドライン』に掲載されているものを一部改編して使用した。

【学校関係者評価委員会 構成員】

- ① 保護者・・・・・・・・・・後援会理事 渥美之吏子 氏
- ② 関連実習施設の関係者・・・・社会福祉法人小羊学園 在宅支援センターぱびるす施設長 紅谷 純 氏
- ③ 高等学校関係者・・・・・・・・聖隷クリストファー高校校長 上村敏正 氏
- ④ 大学関係者・・・・・・・・・・聖隷クリストファー大学社会福祉学部介護福祉学科学科長 野田由佳里 氏

【実施日（意見聴取日）】

2022年2月22日

【評価に用いた資料】

- ・ 専門学校の自己評価および学校関係者評価について
- ・ 2021年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 自己点検・評価結果
- ・ 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教育情報の公表
- ・ 2021年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 事業計画
- ・ 2021年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 履修要項
- ・ 2021年度 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 学生生活の手引き(CAMPUS LIFE)
- ・ 聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 学報2021年6月号、12月号
- ・ 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 2022年度入学案内/募集要項

1. 教育理念・目標・人材養成

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 学校の理念・目的・人材養成像は定められているか	④ 3 2 1	〔現状の問題点〕 問題点は特になし	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④ 3 2 1	①②：履修要項に記載されており卒業時の到達度は、履修要項の「卒業時認定にかかる基本方針」に示されている。	朝礼拝は出席必須としているのか。前身の専門学校では自由参加だった。宗教上問題となる学生はいないか。
③ 教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	④ 3 2 1	③：「介護福祉士養成課程の教育課程の改定」が本年度より実施されており、それに向けて昨年度に教育課程や教育目標についても見直しを行った。本年度が実施1年目である。	〔回答〕 礼拝前の朝の会は必須としているが、礼拝への参加は大切さを説いてはいるが強制してはいない。宗教上、礼拝への参加が難しい人は申し出るようにと声掛けしている。他宗教の学生が過去にいたがその時は問題ないとのことだった。
④ 教育理念並びに教育目標を教職員・学生に周知しているか	④ 3 2 1	④：専門学校教職員会議で教職員に周知を図っている。学生はガイダンス（春・秋のセメスター開始時）や授業内、礼拝等で、具体的でわかりやすく話すなど工夫し周知を徹底している。	

2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	自己点検・評価による現状の問題点および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① カリキュラムは教育目標が反映されているか	④ 3 2 1	<p>[現状の問題点] 問題点は特になし。</p> <p>2021年度より、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則(以下、「指定規則」という)の一部改正に伴い教育課程を改定した。成績評価は、履修規程やシラバスに従って行い、全体的な視点で授業科目ごとのGP(Grade Point)も確認し、授業の点検・評価をしている。</p>	<p>自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。</p> <p>学修支援の必要な学生はどのような学生でしょうか。</p> <p>[回答]</p>
② 定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	④ 3 2 1	<p>①:「学則第3条 キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、介護福祉に必要な専門的知識、技術及び態度と愛の精神が統合された有為な職業人を育成して、社会の福祉に寄与することを目的とする。」を実現するため指定規則に則って、介護福祉士養成に必要な科目を配置している。カリキュラムを静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課に届け出ている。</p>	<p>コミュニケーション能力に課題のある学生が見受けられる。成績は悪くないが、自分の意見が言えない、こちらからの問いかけに返事ができない、といった様子がある。それでも毎日の声掛けで改善は見られる。療育手帳をもって学修習慣がない学生もいる。</p>
③ テキストや教材は適切なものを選定しているか	④ 3 2 1	<p>また、キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶するために、「聖隷の理念と介護福祉教育」を開講している。加えて、毎朝礼拝の時間を設けている。</p>	<p>個別の対応が必要と考えている。</p>
④ シラバスが作成され学生に配布されているか	④ 3 2 1	<p>②:カリキュラムは、指定規則に指定された内容を教育するための科目を配置しており、指定規則の改正に合わせて見直しを行うこととなる。各科目の内容については、シラバス作成時期に各教員が見直し、教育改善を進めている。2021年度より、指定規則の一部改正に伴いカリキュラムを改定した。</p>	

<p>⑤ 授業の点検・評価が適切に実施されているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>③:テキストはシラバス見直し時に各教員が最新のテキストを提示している。新版の発行等については、図書販売業者の確認も行われ、教授内容に合わせて選択を行っている。</p> <p>④:シラバスは、毎年作成方針を決めて、方針に沿って各教員が見直しの上作成している。</p> <p>⑤:成績評価は、履修規程やシラバスに沿っている。また、履修状況、科目別成績評価状況(GP)を教職員会で確認し、学生の学修状況を確認し、組織的な見直しを行っている。教員レベルでは、シラバス作成に当たって振り返りを行っている。</p>	
<p>⑥ 資格試験の合格率は</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>⑥:介護福祉士国家試験の現役合格率は、2019年度全国介護福祉士養成施設の平均80.0%に対して本校は88.2%(15名/17名)、2020年度同72.9%に対して、95.8%(23名/24名)であり、不合格者はいるものの、全国平均に比べて高い合格率を維持している。</p>	
<p>⑦ 資格試験不合格者の対策は</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>⑦:資格試験の受験申し込み状況を把握したのち前期に希望者には模擬問題の配布や個別指導の時間を設けている。2020年度既卒合格者は5名受験し0名であったので課題である。</p>	
<p>⑧ 評価は適切な方法で行われているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>⑧:成績評価は、シラバスにおいて評価方法をあらかじめ明示している。科目の到達目標の到達状況は科目責任者がシラバスに記載している評価方法に基づき評価を行い、教員間で情報を共有し必要な学修支援を行っている。本校では、指定規則に定められた科目の修得が必要であり、進級・卒業の判定審査については本校学則、履修規定に基づき適切に実施している。</p>	

<p>⑨ 目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>⑨:目標に到達しない学生のフォローとして、教員は授業以外に以下の取組みを行っている。 ・学修支援(主に留学生を対象) 春 Semester 準教員による学修支援(1回/週) 秋 Semester 教員による学修支援(3回/月) ・介護福祉士国家試験対策 学生主体による一問一答:4月～12月 2時限目終了時に実施</p>	
<p>⑩ 進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>学内教員による対策講座:10月～1月 週1回実施 外部講師による対策講座:4月～12月 専門学校独自対策:過去問題・模擬問題の実施 春 Semester 一月1回程度、 秋 Semester 週1回実施 ⑩:卒業判定は卒業要件に対する単位修得状況を確認することで、客観的な判定を行っている。</p>	

3. 学生の受け入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	4 ③ 2 1	<p>〔現状の問題点〕</p> <p>2016年度の開設時からの入学者は22名、26名、21名、27名、19名と推移しており、2021年度も28名と入学定員40名を満たせていない。</p> <p>①④：コロナウイルス感染症の拡大により2020年度は開催できなかった5月の高校教員対象の学校説明会を開催し、オープンキャンパスも概ね予定通り実施ができたものの、いずれも参加者数は以前と同程度にとどまった。</p> <p>⑥：2016年度からの入試結果は別表の通り。平均充足率は61.7%である。</p> <p>〔改善のための方策〕</p> <p>2021年5月にホームページの更新を行った。今後は更にコンテンツを増やし、学校の特長を広く発信できるようにする。オープンキャンパスやガイダンス等で接触のあった高校生に対しては、出願に繋がるよう継続して情報提供を行う。</p> <p>引き続き外国人留学生（以下、「留学生」という）が入学しやすいように、県内の主要な日本語学校を訪問し、経済的支援、就職支援を目的とした施設と連携した奨学金制度の紹介を行う。</p>	<p>自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。</p> <p>広報においては、外国人留学生も含め学修態度、生活態度がよい学生が国家試験に合格しているの、そうした学生の日々の様子を取り上げたらどうか。また、今後浜松にも介護福祉士養成校が開設されるが、外国人留学生をターゲットとしているようだ。本校は日本人学生もいるうえに外国人留学生も増えていて、日本人学生、外国人留学生のいずれに対しても支援体制が充実していることなどを前面に広報したらどうか。</p> <p>〔回答〕</p> <p>外国人留学生への学修指導が熱心であることが口コミで広まる一方、外国人留学生が多いことに対してマイナスイメージを抱かれる可能性もあるので、日本人学生からのサポートがあることなども良い点として広報していきたい。</p>
② 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	④ 3 2 1		
③ 募集要項の内容は適切か	④ 3 2 1		
④ 学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4 ③ 2 1		
⑤ 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④ 3 2 1		
⑥ 志願者状況、定員充足率はどうか	4 3 ② 1		
⑦ 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	④ 3 2 1		

⑥別表

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数（人）	25	29	21	29	20	29
合格者数（人）	25	28	21	28	20	29
入学者数（人）	22	26	21	27	19	28
充足率（%）	55.0	65.0	52.5	67.5	50.0	70.0

4. 教員組織

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1	〔現状の問題点〕 専門学校専任教員3名と指定規則上の必要な人数を配置している。教員の担当科目時間数が多めである。また本年度は7名の留学生が入学しており、留学生に対する日本語指導や国試対策支援、到達目標に達しない学生への学修支援などを行うには教員の業務が増える状況である。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4 ③ 2 1	専任教員1人あたりの担当科目時間数については多めであり、教員間での時間数の差が認められる。その他、学修支援を必要とする学生が多くいること留学生においては日本語の支援を踏まえた支援が必要のため担当科目時間数と支援の時間を考慮する必要がある。	どの学校も定員確保が課題である中、教員数が少ない＝現任の教員の負担が大きくなる、多忙となる、だが学生が集まっていないので人は増やせない、という悪循環に陥っている。教育の質、学生の質を上げていくには、教員のコミュニケーション能力を上げるための研修を行うべきと考える。留学生の日本語支援、学修支援は教員が本来持つ介護福祉士養成の専門知識とは別の知識やスキルが必要となる。そこを補う研修をぜひ行ってほしい。それが教育の質、学生の質の向上→魅力ある学校づくり→定員確保→教員の増員→働き方改革とつながっていくと考える。
③ 教職員の業務分掌は明確になっているか	④ 3 2 1	〔改善のための方策〕 春 Semester には準教員を1名採用し、留学生や到達目標に達しない学生の支援を行うことができたが、秋 Semester には必要な人材を確保することができなかった。次年度に向けても準教員1名を配置したいと考えている。	〔回答〕 教員は学生支援に力を入れるあまり学生との関係性が近くなることにも課題を
④ 教職員の能力、業務内容の評価を定期的に実施しているか	④ 3 2 1	現時点では、入学定員を満たしていないため専任教員の新規採用は難しい。在学生の学修支援や留学生支援など授業科目以外での時間を要することが今後も	〔回答〕 教員は学生支援に力を入れるあまり学生との関係性が近くなることにも課題を

⑤ 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	④ 3 2 1	見込まれる。支援の継続と教育の質が低下しないように、教員の教育力の向上のための研修の強化に加えて、非常勤講師や準教員等の活用を継続し質の高い教育を提供できる環境を整備する。	抱えている。教員研修の内容についてはご意見を参考にして考えていきたい。
⑥ 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4 ③ 2 1	専任教員1人あたり担当科目時間数については、各専任教員における科目編成者の領域を主に担当することを基本とし時間数の適性を図っていくこととする。	

5. 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 奨学金等、経済的支援は整備されているか	④ 3 2 1	〔現状の問題点〕 問題点は特になし。 ①: 学生サービスセンターが窓口となり、聖隷福祉事業団(介護福祉養成学校)奨学金、クリストファー介護福祉士奨学金、静岡県社会福祉協議会介護福祉士修学資金、日本学生支援機構奨学金等の説明、手続きの支援を行っている。 ②: 学生相談室は週に3日、平日10時00分から17時00分に開室をしており、カウンセリングは予約制で行っている。入学生に対しては、「UPI調査」を実施することで心と体の健康状態の思わしくない学生をスクリーニングし、必要に応じて面談・カウンセリングを実施している。 外国人留学生に対して、グローバル教育推進センターにて以下のことについて支援と取り組みを行っている。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・私費外国人留学生授業料減免規程に基づいた授業料減免 ・奨学金の給付手続きの支援 ・在留資格更新手続きの準備と支援 	
③ 各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	④ 3 2 1		

<p>④ 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>・留学生の在籍状況やアルバイト時間数などの適正な在籍管理 ・市役所での住民票登録、在留カード住所変更、また住居の選定などの生活全般の支援 ・日本の文化を知る機会、日本人学生と留学生が交流する機会を設定 ③:新型コロナウイルス感染症の影響により、学年暦通りに、また従来通りの方法での学校行事が実施できていないが、中止にするのではなく代替え行事の検討や開催方法の見直しを行い実施することができた。終了後には関係部署で課題を抽出し、当該年度のうちに改善案をまとめ、翌年度以降の実施に繋げている。</p>	
<p>⑤ 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>④:毎年、学校安全計画を作成し、その計画の中に年2回の防災訓練を設定している。新型コロナウイルス禍の中での避難訓練は防災教育と安否情報確認(ANPIC)を実施した。 専門学校棟の出入口は2箇所であり、夜間(21時から翌朝7時)は施錠され、学生や学外者は入館できないが、教職員は暗証番号で入館できる仕組みになっている。</p>	
<p>⑥ 新たな求人開拓の努力をしているか</p>	<p>④ 3 2 1</p>	<p>災害時には安否情報確認メール(ANPIC)で安否が確認できるシステムを運用している。 ⑤:就職等に関する支援プログラムを1年次生から実施し(別表参照)、毎回ほぼ全員が参加した。また、学生個々に対し、就職相談のほか、履歴書添削や模擬面接を実施するなどの手厚いサポート</p>	

		を実施している。本校の入学定員40名に対して2020年度延べ349名の介護職求人があった。開校以来、就職を希望する学生の就職率は100%である。	
--	--	--	--

⑤別表

2021年5月	社会人になるための基礎講座、社会人マナー講座
6月	スーツ着こなし講座、メイクアップ講座（女性のみ）※動画視聴
12月	2年次生による就職活動報告会、卒業生と在学生との懇談会、聖隷クリストファー大学社会福祉学部への編入学説明会、履歴書の書き方、面接の受け方講座
2022年3月	福祉系の法人・施設等を招いての説明会

6. 施設・設備

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	自己点検・評価による現状の問題点および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1	〔現状の問題点〕 問題点は特になし。 ①②③④⑤⑧: 専門学校棟に普通教室が2室(各144.0m ²)、学生が自学自習できる実習教育室(36.0m ²)を設けている。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1	大学2号館の介護実習室(115.4m ²)は大学社会福祉学部と共用している。その他の施設設備も大学と共用しており十分に整っている。また、教務事務センターで教室の使用状況を一元管理している。	実習時のマスク支給はありがたかったが、サイズが合わなかったという声があったようだ。小さめサイズを用意したらどうか。
③ 実習設備は整備されているか	④ 3 2 1	教室等の修繕等は財務部施設課が対応しており、不具合等が生じれば都度対応している。	〔回答〕 学生の要望に合うよう対応する。
④ 講義室・実習室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1	教室には教員用パソコン、プロジェクタ、DVDプレーヤーなどの機器が整備されており、授業に活用されている。実習教育室にはパソコンとプリンタが1台ずつ常設しており、学生が自由に使用することができる。	
⑤ 学生が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1	教室、実習教育室ではWi-Fiが利用できる。情報処理の授業など全員がパソコンを使用する際には、大学の機器	

⑥ 図書室は適切に整備されているか	④ 3 2 1	を共用して対応ができています。	
⑦ 保健室は適切に整備されているか	④ 3 2 1	⑥:図書館には、介護関連の図書が9,253冊あり、教員と学生からの希望を含めて選定リストを図書館事務センターが作成し、図書館運営会議に諮り選定している。学生は、貸出パソコンを借りて学習や、ラーニングコモンズなどで自主学習をしている。	
⑧ 教育用機器備品は整備されており活用されているか	④ 3 2 1	⑦:健康管理センターが設置されており、看護師資格を保有している専門の職員2名が常駐している。	
⑨ 教員室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1	⑨:教員室は専門学校棟の1階に置かれており、常時学生が立ち寄ることができるようになっている。教員室には各教員用に机・イス・パソコンが配備されている。管理は教員がおこなっている。夜間は機械警備がセットされ室内のセキュリティーを確保している。	
⑩ 事務室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1	⑩:事務室は、スチューデントプラザに学生支援のための事務部門(センター)が集約されている。教務事務センター、学生サービスセンター、キャリア支援センター、グローバル教育推進センター、ICTセンターなど専門性をもって学生支援にあたっている。管理部門として総務部が置かれている。	

7. 管理・運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
① 理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	④ 3 2 1	〔現状の問題点〕 財務分析比率について、専門学校単	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
② 理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	④ 3 2 1	独の帰属収支差額がマイナスとなっている。これは入学者の未充足によるものである。	
③ 就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	④ 3 2 1	〔改善のための方策〕	
④ 就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	④ 3 2 1	学生募集力を強化し入学者を充足させるために2022年度は以下の4点を中心に募集広報を進めていく。	
⑤ 組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④ 3 2 1	①接触者を増やし、確実に出願・入学に繋げる。	
⑥ 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	④ 3 2 1	②卒業生の活躍をホームページや募集行事において紹介する。	
⑦ 個人情報保護法を遵守しているか	④ 3 2 1	③修学支援制度および近隣法人と連携した奨学金制度を分かりやすく伝える。	
⑧ ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	④ 3 2 1	④重点校（日本語学校含む）との関係作りを強化する。	
⑨ 財務分析比率は適切な数字になっているか	4 3 ② 1		
⑩ 学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1		